22型ワイド液晶モニタ
取扱説明書

CG-L22WDGHシリーズ

重要

■ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
■正しく安全にお使いください。
■お読みになった後は、大切に保管してください。

目 次

液晶パネルの特徴

■液晶モニタは、構造上、表示画面に黒い点（点滅しない点又は輝点、光点）が見えることがあります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。

■液晶モニタは、長時間映し出しておくと残像が出たり、液晶パネルの寿命を短縮させる場合があります。画面を見ない時は、電源を切ったり、スクリーンセーバーを使うなどにしてください。

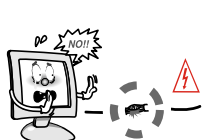
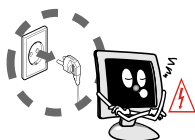
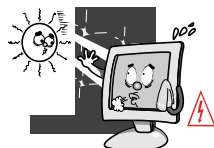
■液晶モニタは、長時間使用すると画面の一部又は全体が黒くなるか、ちらちらする場合があります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度電源を入れなおしてご確認ください。

■液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点及びむらが見えることがありますが、故障ではありません。

ご使用前に、注意事項をよくお読みください。

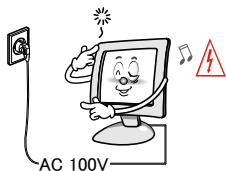
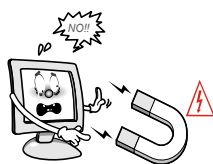
尖った物質(針、ピンなど)によってLCD画面が損傷を受けないようにしてください。

モニタの内部は電気的な素子で構成されています。必ず分解しないまま指定されたサービスセンターにて修理依頼をしてください。

LCDモニタは衝撃に弱いため、画面部が損傷を受ける恐れがあります。取り扱いは特に注意してください。

絶対に損傷された電源コードを使用しないでください。

モニタを長い間使用しない場合や外出する時は必ず電源コードを抜いてください。

直射光または自然光が直接受ける窓際などでの使用は避けてください。

温度が高い場所、湿度が高い場所、ほこりが多い場所での使用は避けてください。

LCDモニタ画面部のお手入れにアセトン、エチルアルコール又は酸性洗剤などは使用しないでください。

傾いている場所、不安定な場所には設置しないでください。製品の損傷又は人が怪我をする恐れがあります。

ACアダプタおよび電源ケーブルをつなぐ前に、お使いの電源電圧がAC 100Vであることを確認してください。

モニタの周辺には磁気物質、金属、引火性物質などを置かないでください。

注意 **画面の残像や焼き付き**

長時間同じ画面を表示させていると画面の残像や焼き付きを起こすことがあります。ご使用しないときは電源を切ったり、スクリーンセーバー機能をご使用ください。

製品の特徴

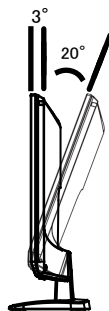
▶ はじめに

この度は当社液晶モニタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

▶ 製品の特徴

1） 本製品は22型ワイドで、超精密高解像度の映像を実現します。
2） 本製品は最大解像度1680×1050で最適に表示されます。
3） 本製品は水平周波数31～80KHz、垂直周波数56～75Hzまでに自動変換できるモニタです。
4） 本製品はHDCP規格及びアスペクト比機能に対応しています。
5） 本製品はコンポーネント映像入力端子が搭載されてあり、外部機器からの高画質の映像やゲームなどを楽しむことができます。
6） 本製品はONモードで48W以下(最大)、一時停止(待機)モードで2W以下、OFFモードで1W以下の省エネ機能を持っています。
7） ”プラグアンドプレイ”でお使いいただけます。

▶ 製品の角度調節時の注意

■ モニタ角度を調節する際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合は液晶パネルが割れる恐れがあります。
■ 角度調節の際、スタンド可動部の隙間に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。
■ モニタを後ろに倒しすぎると、モニタが転倒して故障の原因となることがあります。
後方に20° 以上倒すと転倒の恐れがあります。

参考

本製品は、コンポーネント映像入力端子(Y、Pb、Pr)のみ搭載されています。外部機器とつないでご使用になる場合、5ページの接続に関する説明及び参照例を参考してください。

ご使用のシステム仕様内容によっては、プラグアンドプレイが使用できない場合があります。

製品の設置

▶ 梱包品の確認

以下のものが全て入っているか確認し、万一不足しているものや破損しているものがある場合は販売店又はサポートセンターへご連絡ください。

１．モニタ本体
２．取扱説明書(製品保証書)
３．ACアダプタ
４．電源コード
５．RGB ケーブル(D-SUB 15 Pin)
６．オーディオケーブル(PC用)
７．オーディオ変換ケーブル
※DVI-D(24 Pin)ケーブルは梱包されておりません。

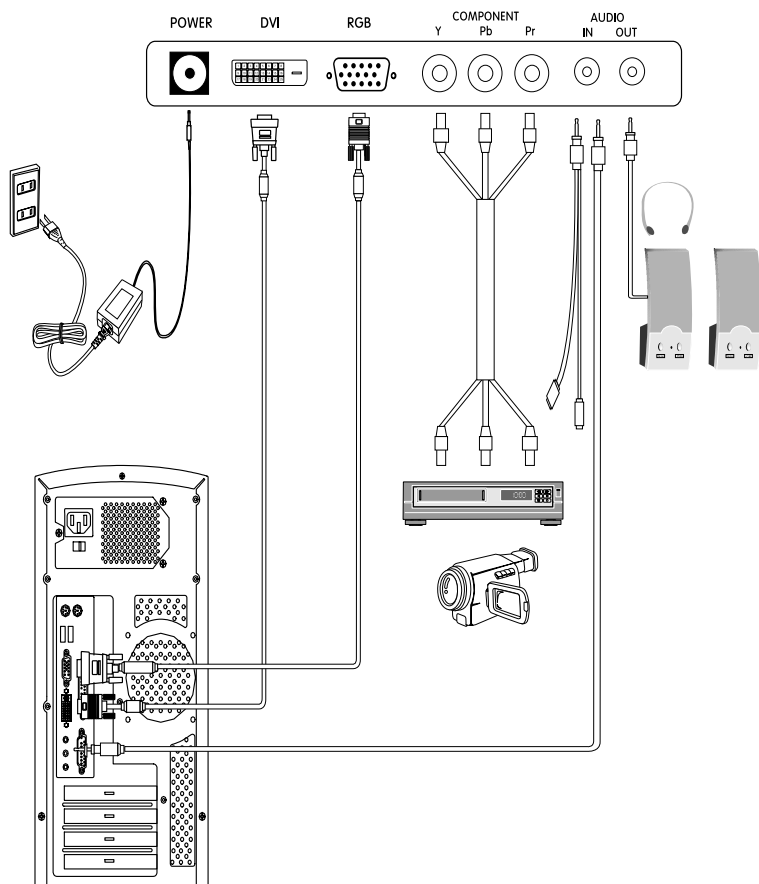
▶ 製品の設置

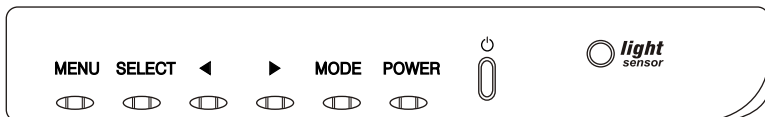
１．PC又は外部機器とつなぐ前にモニタの電源をOFFにしてください。
２．電源接続
　ーモニタのDCジャックに付属のAC電源(アダプタ)を接続します。
　ーAC電源(アダプタ)に付属の電源コードを接続します。
　ー電源コードのプラグを挿し込みます。
３．入力信号接続
　信号入力端子は15 Pinコネクタです。
　(DVIの場合、DVIコネクタ24ピンです)
　ー付属のRGBケーブルをPCの信号出力部に接続します。
　ーモニタのD-SUBコネクタにRGBケーブルを接続します。
４．モニタの電源をONし、PCの電源をONしてください。
５．使用後は、PCの電源をOFFにして、モニタの電源をOFFにしてください。

参考

アナログ入力モードで初めてご使用になる場合は、モニタの画面が表示された後「SELECT」ボタンを押して、「自動画面調整」機能を実行してご使用ください。

製品の設置

▶ 接続図の参照例

動作部の名称と調整

本製品の動作部の名称及び機能は下記の通りです。

▶ 動作部の名称と機能

◆ MENU

MENUボタンを押すと、画面上にOSD(On Screen Display)メニューが表示されます。何も選択されていない状態で再度押すとメニュー画面が消えます。

◆ SELECT

OSDメニュー画面上の選択ボタンで動作します。
OSDメニューが表示されていない時に押すと「自動画像調整」を行います。
※DVI(デジタル)入力画面では自動画像調整が動作しません。

◆ ◀ / ▶

OSDメニュー画面上で、上下メニューへの移動や、選択した調整値を調節します。
※OSDメニューが表示されていない時は、スピーカの音量を調節します。

◆ MODE

入力信号モードを次のように切り替えます。
RGB -> DVI -> Component

◆ POWER

モニタ本体の電源をON / OFFします。
※長時間使用しない場合は、電源を切ってください。

動作部の名称と調整

◆ 電源表示ランプ(青色)

本製品は節電機能があります。
表示ランプ及び節電表示ランプは下記のように表示されます。

MODE	ON	STAND BY	SUSPEND	OFF
電源表示ランプ	青色	青色(点滅)		OFF
画面	Active	Blanked	Blanked	OFF

◆ LIGHT SENSOR( )

表示画面の明るさ（ブライトネス）を自動調節します。

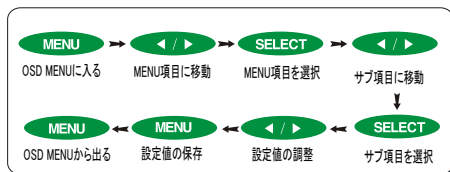
本製品は周りの明るさに合わせて表示画面を最適な明るさに自動調節する機能が搭載されています。

※詳しい使い方は、次のOSDメニュー紹介の「画面」調整項目を確認してください。 (9ページ)

参考

製品の購入時は「ON」に設定されています。

OSDメニュー選択/調整

各操作ボタンを押してOSDメニュー内で各メニューを選択/調整できます。
各メニューの設定値を調整する場合は下記の通り操作してください。

1. MENUボタンを押すと、OSD画面が表示されます。
2. ◀ / ▶ボタンを操作して希望するMENU項目に移動します。
3. SELECTボタンを押して希望するMENU項目を選択します。
4. ◀ / ▶ボタンを操作して希望するサブ項目に移動します。
5. SELECTボタンを押して希望するサブ項目を選択します。
6. ◀ / ▶ボタンを操作して設定値を調整します。
7. MENUボタンを押して設定値を保存(セーブ)します。
8. MENUボタンを2回押し、OSDメニュー画面を閉じます。

参考

OSDメニュー画面は、メニュー画面表示タイマーがONの状態であれば、一定時間が経つと自動的に消えます。

メインメニューの構成は下記のようになります。

1. 画面
   周りの明るさに合わせてモニタ画面の明るさを自動調節、ブライトネス調整、画面の位置(垂直、水平)、フェイズ(焦点)、クロック(周波数)、自動画像調整などを設定します。
2. 色温度
   画面の明るさ、コントラスト、色合い、自動カラー調整を設定します。
3. OSD
   メニュー画面の位置、表示時間、メニュー画面の透明度を設定します。
4. 設定
   メニュー画面の使用言語設定、設定値の初期化、入力信号切替、音声入/切、音量を設定します。

メニューの紹介

画面

自動ブライトネス:明るさ自動調整機能をON/OFFします。
明るさ調整:自動ブライトネスの基準値を調整します。
水平位置:表示画面の水平位置を調整します。
垂直位置:表示画面の垂直位置を調整します。
フェイズ:表示画面の焦点を調整します。
クロック:画素点の水平サイズを調整します。
自動画像調整:画面の位置、フェイズ、クロックを自動調整します。

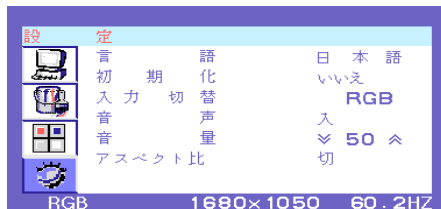
色温度

明るさ:画面の明るさを調整します。
コントラスト:コントラストを調整します。
色温度:色感を調整します。(青色、赤色、USER)
赤　色合い調整:赤色の比率を調整します。
緑　色合い調整:緑色の比率を調整します。
青　色合い調整:青色の比率を調整します。
自動カラー調整:画面の色を自動調整します。

メニューの紹介

OSD

OSD水平位置:OSDメニュー画面の水平位置を調整します。
OSD垂直位置:OSDメニュー画面の垂直位置を調整します。
OSD表示時間:OSDメニュー画面の表示時間を調整します。
※OSDメニュー画面の待機表示時間は最大40秒まで設定できます。
透明度:OSDメニュー画面の透明度を調整します。

設定

言語:OSDメニューの使用言語を設定します。
初期化:全ての機能、設定値を初期化します。
入力切替:入力信号(RGB、DVI、COMPONENT)を切り替えます。
音声:音声をON/OFFします。
音量:音量を調整します。
アスペクト比:[入]にすると画面の比率を入力信号に合わせて表示します。
(工場出荷時は「切」状態です)

参考

DVI入力は1680×1050以上の解像度では60Hzが最適な状態です。
DVI、COMPONENT入力の場合、一部調整できないメニュー項目があります。

画面メッセージの説明

自 動 画 像 調 整

＊自動画像画像調整

アナログRGB入力で自動画面調整を行うとき
表示されます。

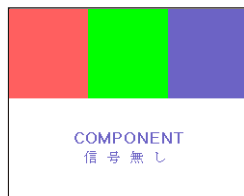
自動カラー調整

＊自動カラー調整

アナログRGB入力で自動カラー調整を行うとき
表示されます。

自動ブライトネス

＊自動ブライトネス

自動ブライトネス機能を行うとき表示されます。

＊信号無し

RGB、DVI、COMPONENTいずれかの入力信号がないときに表示されます。
ケーブルの接続状態を確認してください。

入 力 信 号 チ ェ ッ ク

＊入力信号チェック

入力信号が信号許容の範囲を超えた場合に表示されます。

節 電 モ ー ド

＊節電モード

PCが省電力モードになり、RGBまたはDVIの入力信号がない場合に表示
されます。PCの電源を確認してください。
このメッセージは自動的に消えます。

信号タイミング表

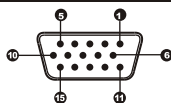
本製品はマルチ周波数モニタです。
水平周波数が31～80kHz、垂直周波数が56～75Hzの範囲で作動します。
マイクロプロセッサーを基本にデザインされているため、同期及びサイズが自動的に調整されます。また、本製品には主に19個のモードが下記表のようにあらかじめ調整されています。

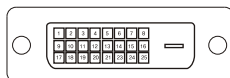
Preset		Resolution		Frequency		Clock (MHz)	Polarity (H/V)
		Horizontal	Vertical	Horizontal	Vertical		
MAC	M1	640	480	35.0kHz	67Hz	30.240	−/−
	M2	832	624	49.7kHz	75Hz	57.284	−/−
IBM	M3	640	350	31.5kHz	70Hz	25.175	+/−
	M4	640	480	31.5kHz	60Hz	25.175	−/−
	M5	720	400	31.5kHz	70Hz	28.322	−/+
VESA	M6	640	480	37.5kHz	75Hz	31.500	−/−
	M7	640	480	37.9kHz	73Hz	31.500	−/−
	M8	800	600	35.2kHz	56Hz	36.000	+/−,+/−
	M9	800	600	37.9kHz	60Hz	40.000	+/+
	M10	800	600	48.1kHz	72Hz	50.000	+/+
	M11	800	600	46.9kHz	75Hz	49.500	+/+
	M12	1024	768	48.4kHz	60Hz	65.000	−/−
	M13	1024	768	56.5kHz	70Hz	75.000	−/−
	M14	1024	768	60.0kHz	75Hz	78.750	+/+
	M15	1152	864	67.5kHz	75Hz	108.000	+/+
	M16	1280	1024	64.0kHz	60Hz	108.00	+/+
	M17	1280	1024	80.0kHz	75Hz	135.00	+/+
	M18	1440	900	55.9kHz	60Hz	106.5	−/+
	M19	1680	1050	65.3kHz	60Hz	146.250	−/+

入力信号接続

本製品の信号入力端子はRGB、DVI-D(HDCP)、COMPONENT(映像)です。

▶ RGB(15 Pin D-SUBコネクタ)

Pin	Signal	Pin	Signal	Pin	Signal
1	Red	6	Red Ground	11	Ground
2	Green	7	Green Ground	12	SDA
3	Blue	8	Blue Ground	13	Horizontal-Sync.
4	No Connection	9	No Connection	14	Vertical-Sync.
5	Ground	10	Ground	15	SCL

▶ DVI-D(24 Pinコネクタ)

Pin	Signal	Pin	Signal	Pin	Signal
1	T.M.D.S Data 2-	9	T.M.D.S Data 1-	17	T.M.D.S Data 0-
2	T.M.D.S Data 2+	10	T.M.D.S Data 1+	18	T.M.D.S Data 0+
3	T.M.D.S Data 2/4 Shield	11	T.M.D.S Data 1/3 Shield	19	T.M.D.S Data 0/5 Shield
4	T.M.D.S Data 4-	12	T.M.D.S Data 3-	20	T.M.D.S Data 5-
5	T.M.D.S Data 4+	13	T.M.D.S Data 3+	21	T.M.D.S Data 5+
6	DDC Clock	14	+ 5V Power	22	T.M.D.S Clock Shield
7	DDC Date	15	Ground	23	T.M.D.S Clock+
8	Reserved	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S Clock-

▶ COMPONENT(映像:Y, Pb, Pr)

Pin	Signal	Pin	Signal	Pin	Signal
1	Y : Luminance(Green)	2	Proportions Blue(Blue)	3	Proportions Red(Red)

システムの信号出力部と接続する前に、必ずモニタの電源を切ってください。

製品仕様

モニタの製品仕様

液晶パネル	パネルタイプ	22型ワイドカラーTFT
	Pixel領域	0.282 × 0.282ドットピッチ
	表示色	16,777,216色
	画面状態	グレアコーティング
	有効ドット数の割合	99.9995%
視野角	水平/垂直	170° /160°
コントラスト比	Typ.	1000 : 1
輝度	Typ.	300cd/㎡
応答速度	Typ.	5ms
解像度	Max	1680×1050@60Hz NI(60Hz for optimal display)
互換性	PC	IBM XT、AT、386、486、pentium or PS/2 and compatibles (from XVGA up to 1680x1050@60Hz NI)
入出力コネクタ	入力信号	15 pin D-SUB、DVI-D(HDCP)、Component
	Power	DC+12V In
電源仕様	入力	AC 100-240V 50-60Hz
	出力	DC 12V
	消費電力	48W(最大)
可視画面サイズ	Max	473.76(W) ×296.10(H)mm
動作環境条件	温度	0～40℃
	湿度	20～90%(結露なきこと)
保管環境条件	温度	-20～60℃
	湿度	5～90%(結露なきこと)
本体寸法	WxDxH	520(W) ×145(D) ×437(H)mm
重量	本体/包装	5.3Kg/7.8Kg
音声入/出力	音声入/出力	ステレオミニジャック
	スピーカー	5W(Max) × 2

★外観デザイン及び製品仕様は、製品性能の向上のために事前の予告なしに変更される場合があります。

修理依頼する前に

モニタに異常が発生し、修理する必要がある場合は購入された販売店や製品サポートセンターにご連絡ください。

尚、ご連絡する前には下記項目をチェックしてください。

▶ □画面が表示されない。

- モニタの電源コードが抜けていないかを確認してください。
- モニタの電源がOFFになっていないかを確認してください。
- システムの電源がOFFになっていないかを確認してください。
- モニタの信号ケーブルが抜けていないかを確認してください。

▶ □画面が暗すぎか、明るすぎである。

- OSDメニューの明るさまたはコントラストを調整してください。

▶ □画面が左/上または上/下に傾いているか、不安定である。

- 画面の自動調整機能を実行してみてください。
  (表示状態でSELECT ボタンを押す)
- OSDメニューの位置調整を確認してください。
- グラフィックカードの信号モードによってモニタの表示に異常が生じる場合があります。

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供します。
本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

弊社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。